

<<米国 FDA による リコール情報（2026 年 8 月分）>>

2026 年 8 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出された、食品、飲料、栄養補助食品のリコール情報は 31 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
有害病原菌の検出（サルモネラ 14 件、STEC 2 件、リステリア 2 件） （※重複 3 件を含む）	15 件
アレルゲン表示漏れ	9 件
異物混入（メタル、ガラス片、アルミニウム破片）	4 件
医薬品原材料および未承認の原材料を含む栄養補助食品	1 件
食用として認可されていないニンニク精油を含む油	1 件
カリウム等の栄養成分の含有量が不足している猫用ミルク代替品	1 件

これらの 31 件のリコール情報のうち、有害病原菌汚染（サルモネラ菌、志賀毒素産生大腸菌（STEC）、リステリア菌）によるものが 15 件、ラベル表示におけるアレルゲンの記載がなかったものが 9 件であり、これら 2 つがリコール理由の 8 割弱を占めた。「企業名（Company Name）」をもとに確認したところ、日系企業にかかるとみられるリコール案件はなかった。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。

今回、志賀毒素産生性大腸菌（STEC）が含まれる可能性があるためにリコールとなった製品は、アルファルファ・スプラウトおよびラディッシュ（皮が赤くて丸い大根）ミックスである。

志賀毒素産生性大腸菌（STEC）は、乳幼児、高齢者、および免疫機能が低下している人々において、重篤で、時に死に至ることもある感染症を引き起こす可能性のある細菌である。STEC に感染すると、菌を摂取してから数日以内に急性下痢症（しばしば血便を伴う）を発症する。多くの人は 1 週間以内に

回復するが、感染者の一部（特に 5 歳未満の小児、高齢者、免疫不全者）では、溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症する可能性がある。HUS は、溶血性貧血（赤血球の破壊）、血小板減少症（血小板数の低下）、および腎不全を特徴とする重篤な疾患であり、死に至ることもある。

<メタル、ガラス片、アルミニウム破片の混入>

今回リコール対象となった製品は、犬用缶詰、ポテト・サワードウ・ブレッド、アイスクャンデー、および、焼き製品（ベイクド・スパゲティ、チキン・コブラーおよびパンプディング）であった。

焼き製品については、定期的な点検の際に、当該製品の製造に使用された焼き型から小さなアルミニウムの破片が発見されたため、同様の焼き型を使用して製造された全ての製品をリコールしたものである。焼き型の供給業者には既に通知されており、影響を受ける可能性のある焼き型をすべて流通から排除する措置が開始されている。

<医薬品原材料および未承認の原材料を含む栄養補助食品>

今回リコールされた当該製品の昼用錠剤にはラベル表示のないフルオキシセチンが、夜用錠剤にはラベル表示のない 2,4-ジニトロフェノール（DNP）が混入していることが、FDA の検査によって判明した。フルオキシセチンは、うつ病、過食症、強迫性障害などの治療に用いられる FDA 承認薬の有効成分である。栄養補助食品は医薬品ではなく、あくまで食品のカテゴリーであって、医薬品原材料であるフルオキシセチンを含む製品を、栄養補助食品として販売することはできない。さらに DNP については、本来は農薬、染料、木材防腐剤、除草剤などとして使用される有毒物質であり、FDA はいかなる用途においてもその使用を承認していないが、減量用製品に含まれ違法に販売されていた。

<食用として認可されていないニンニク精油を含む油>

FDA の通知には、「食品への使用が承認されていない」ニンニク精油が含まれていたと記載されているのみで、そのニンニク精油が不適切と判断されるに至った理由は特定されていない。また、当該回収対象製品に関連する健康被害の報告もなかった。これは、実際に確認された汚染や食中毒の事例というよりは、主として FDA による食品成分の規制・コンプライアンス上の問題であるとみられる。例えば、ニンニクおよびその派生物に対する連邦規則は、[21 CFR § 184.1317](#) に記載されている。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：

米国輸出支援プラットフォーム（ジェトロロサンゼルス事務所）

TEL：1-213-624-8855

Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成